

〈目次〉

広場の造形——建築作品フォーラム——

——建築の構想と細部のデザイン——

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・田端 修、久保 清一
根岸 一之、宮本 佳明

境界の突破——造形基礎教育と環境基礎教育の接点から——

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・柳楽 隆一、篠沢 健太

アレッシのセレブリティ・デザイン&ビジネスについて

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・池田 靖

デザイン学概論ノート [3] 「これからのGD論」のためのノートから

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・西尾 直

スクリービン ピアノ音楽語法の変遷——小品からのアプローチ——

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・志賀真知子

テキスタイルデザイン概論——IT（情報技術）とテキスタイルデザイン——

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・梅田 幸男

写真が芸術になるとき（1）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・犬伏 雅一

“アートプロジェクト” という名の回路

——相互触発を生じさせるための構想と実践——

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・豊原 正智、谷 悟

絵画にみるヴァトー・プリーツ・・・・・・・・・・・・・・・・野口 榮子

James Joyce の “The Dead” —『ダブリン市民』再読 (6) —・・・・・・・・田畑 榮一

未来の出来事とモダリティ・・・・・・・・・・・・・・・・兼沢 純子

絵画 WingMakers の意味と神話的イメージについて

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・新井 基祐、クリストファー・ロック

震災の町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・今駒 清則

第二十六回香港国際电影节報告・・・・・・・・・・・・・・・・重政 隆文

玩具映画とフィルム・アーカイブについて

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・太田 米男、松本 夏樹

単葉現像液の現像特性・・・・・・・・・・・・・・・・里 博文

ベーター＝ミヒャエル・リーム教授の音楽教育講座

～ドルフ・シュタイナーの視点から～・・・・・・・・高久 理恵

海外の照明家事情・・・・・・・・・・・・・・・・濱野 直子

黄道婆とその時代の染織・・・・・・・・・・・・・・・・竹垣 恵子

CONTENTS

Arts in Public Spaces—Forum of Architectural Works— · · · · · Osamu Tabata, Seiichi Kubo, Kazuyuki Negishi, · · · 4 Katsuhiko Miyamoto	
Beyond the Border between Fundamental Education of Art and Environmental Education · · · · · Ryuichi Nagira, Kenta Shinozawa · · · 21	
Alessi's Celebrity Design & Business · · · · · Tadashi Ikeda · · · 32	
From the Notes of Theorization about the Infrastructure of Graphic Design · · · · · Tyoc Nishio · · · 43	
The Transition of Scriabin's Piano Music Usage —Approach from short pieces— · · · · · Machiko Shiga · · · 54	
An Introduction to Textile Design · · · · · Yukio Umeda · · · 67	
What Makes Photography Belong to Art? (1) · · · · · Masakazu Inubuse · · · 76	
An Alternative Approach to “Art Project” —Ideas and Practices for Mutual Incentives— · · · · · Masatomo Toyohara, Satoru Tani · · · 88	
On Watteau Pleats in Works of Paintings · · · · · Eiko Noguchi · · · 101	
James Joyce's “The Dead” —Re-reading Dubliners (6) · · · · · Hidekazu Tabata · · · 112	
Futurities and Modality · · · · · Junko Kanazawa · · · 125	
Meaning and Mythological Imagery in WingMakers' Paintings Part 1: <i>Chamber 6 paintings</i> · · · · · Motosuke Arai, Christophe P. Lock · · · 133	
Rebuilding a Town Damaged by Earthquake · · · · · Kiyonori Komma · · · 148	
A Report on the 26th Hong Kong International Film Festival · · · · · Takafumi Shigemasa · · · 158	
Toy-Films and Film Archive · · · · · Yoneo Ota, Natsuki Matsumoto · · · 165	
Special Characteristics of a Single Developing Agent · · · · · Hirofumi Sato · · · 180	
A Lecture on Music Education by Prof. Peter=Michael Riehm —From the viewpoint of Rudolf Steiner— · · · · · Rie Takaku · · · 183	
World Lighting Designers · · · · · Naoko Hamano · · · 190	
Dyeing and Weaving by Huangdaopo and Her Times · · · · · Keiko Takegaki · · · 195	

《筆者及表紙作成者紹介》

新井 基祐	大阪芸術大学教授（英文文学）
池田 靖	大阪芸術大学教授（デザイン全般）
犬伏 雅一	大阪芸術大学助教授（映像論）
梅田 幸男	大阪芸術大学助教授（テキスタイルデザイン）
太田 米男	大阪芸術大学助教授（映画）
兼沢 純子	大阪芸術大学助教授（英語学）
北端 信彦	大阪芸術大学教授（ヴィジュアル・デザイン）
久保 清一	大阪芸術大学教授（建築設計）
クリストファー・ピーター・ロッグ	大阪芸術大学非常勤講師（英米文化事情）
今駒 清則	大阪芸術大学教授（写真）
里 博文	大阪芸術大学講師（黑白写真表現、デジタル・アナログ融合写真）
志賀 眞知子	大阪芸術大学助教授（ピアノ・基礎科目）
重政 隆文	大阪芸術大学教授（映像論・演劇論）
篠沢 健太	大阪芸術大学助教授（環境デザイン）
高久 理恵	大阪芸術大学講師（ピアノ）
竹垣 恵子	大阪芸術大学助教授（芸術学）
谷 悟	大阪芸術大学非常勤講師（アートプランニング）
田端 修	大阪芸術大学教授（都市設計・都市論）
田畑 榮一	大阪芸術大学助教授（英文学）
豊原 正智	大阪芸術大学教授（映像学）
柳楽 隆一	大阪芸術大学助教授（立体造形）
西尾 直	大阪芸術大学教授（デザイン社会学・グラフィックデザイン）
根岸 一之	大阪芸術大学助教授（建築設計）
野口 榮子	大阪芸術大学客員教授（西洋美術史）
濱野 直子	大阪芸術大学講師（テレビの美術と照明）
松本 夏樹	大阪芸術大学非常勤講師（図像学）
宮本 佳明	大阪芸術大学助教授（建築設計）

《編集後記》

中島貞夫

“藝術” 25号をお届けします。

今号より本誌の編集業務に藝術研究所が携わることとなり、立場上私はその責任者ということにあいになりました。自らその任に適しておらぬことを承知の上でその責務に当る以上、皆様の御指導、御協力のみが頼りです。幸い今号につきましては、編集委員各位が前号に引続いての任期中ということで、専ら実務的な作業は委員の皆様のお力にすぎらばなしでございました。

ただ従来より“藝術”に関し、私が抱いていた素朴な疑問を、この機に編集委員の方々にお話しし御検討願った事項がございました。それは総合芸術大学であり実作に携わる先生も多い本学の紀要という性格上、視覚的誌面が多いのは、むしろ一つの特色と考えられるが、果してその全ての内容が紀要に房わしいものかどうかという点でした。本誌への投稿規定には、研究論文、調査報告、それに加え作品発表という項がございますが、誌面上で発表し得る作品とは何かということになりますと、これは極めて限られたジャンルの作品に搾られてしまうのではないのでしょうか。これ迄のケースを散見していても、造形作品の場合など誌面上の図版ではとても作品発表とは言えず、単なる新作の紹介にとどまっているのが実情ではないのでしょうか。

ならばこうした作品発表は、どう扱うべきか。この問題の解決は、研究者の成果発表である研究論文や調査報告が本誌を使用するのと同様に、実作に携わる方々にもそれに房わしい場が別個に考慮されることです。幸い本学には、本年度より大学博物館が開設される運びとなりました。作品発表の多くは、この博物館を利用することで、より有効な発表が可能となるのではないのでしょうか。発表の為の場の提供のみならず、博物館ならばそれに伴う作業（図録の作成等）のお手伝いも可能です。

更に視覚的誌面についての問題点は、調査報告の一部のものについて添付される写真についてです。報告の名のもとに、いささか内容の乏しい写真が安易に使用され過ぎているように思えます。

こうした問題点の検討は、時間的な制約もあり今号では十分に生かされているとは申せませんが、次号に向け更なる検討も加えることで、より充実した誌面づくりを図ってまいりますと存じます。どうぞ今後とも、御高評御忠言を賜りますよう、よろしくお願い致します。

大阪芸術大学 紀要〈藝術〉25

平成14年12月1日発行

発行／大阪芸術大学

大阪府南河内郡河南町 TEL0721-93-3781

編集／大阪芸術大学紀要編集委員会

委員長	映像	学科・教授	中島 貞夫		
委員	美術	学科・助教授	前中 妙	環境計画	学科・助教授 下休場千秋
	デザイン	学科・教授	北端 信彦	音楽教育	学科・教授 宮前 勝代
	建築	学科・教授	田端 修	演奏	学科・助教授 和布浦真理子
	文芸	学科・助教授	笹谷 純雄	舞台芸術	学科・教授 宮村 一幸
	音楽	学科・教授	中山 一郎	芸術計画	学科・教授 豊原 正智
	放送	学科・助教授	高木真理子	教養課程	講師 松井 純子
	写真	学科・教授	原見 政男	芸術文化研究	科・教授 新井 基祐
	工芸	学科・教授	井関 和代	芸術制作研究	科・教授 田島 信
	映像	学科・助教授	吉川 幸夫		

印刷／日本写真印刷株式会社